



ドクター板東の メディカルリサーチ

Vol. 75

～憧れの 彼女から得た スピリット～

<http://hb8.seikyou.ne.jp/home/pianomed/>

私が長年目指してきたいるのは、加齢医学（アンチエイジング）である。その目標は、いつまでも心身を若く維持していくこと。近年広く知られるようになり、お聞きになつた人々も多いだろう。

このたび、アンチエイジングの見地から、私が長年尊敬し憧れている超一流のアスリートと運良くお会いできた。この機会により、スポーツに対し、さらなる前向きの気持が沸き上がつてきたように思う。

まず、図1をご覧いただきたい。これから私のスポーツ人生において、ポイントとなる大切な写真となるだろう。本稿では、これらに関わる最近のエピソードや将来について触れてみたい。

国体の結団式

冬期国体は毎年1月下旬に北国で開催される。それに先だって、アイススケートおよびスキー選手団の結団式が行われてきた。今回も、徳島県体育協会会長で



図2



図3



図5

ある飯泉嘉門徳島県知事が、力強い激励の挨拶を頂いた。その内容について、私が一言でまとめてみると、次のようにならないだろうか。「ヘイ、カモン、燃えよ、ガツッだ」と！（図2）

この国体でスケート競技に参加する選手について、岐阜では内記淳司氏が長年スケートのお世話やインターネットでの啓発活動を続けてきた。

実は、彼の情熱によって、「岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場」が設立さ



図1

岐阜の恵那に集結

私はスケートを通じて得た友人が全国におり、各地でそれぞれ活躍している。監督は筆者、選手は喜多秀明1名という陣容で、スケート競技にエントリーすることになった。



図4

南国徳島から挑戦

今回のスピードスケート国体は、恵那を中心開催された(図4)。徳島県代表の喜多選手はスピードスケート部門の1500mと5000mにエントリー(図5)。彼は日本のオンラインスケート界では第一人者である。

しかし、アイススケートでは、簡単には勝たせても喜多は予選敗退(岐阜・十六銀行)が全体会(2月28日)に出走した。同1500mは、バンクーバー冬季五輪団体追い抜き銀メダルの梶原雅子(富山・タチコ)、日本選手権で3位に入った徳島の(北海道・トランジス)が予選を通過した。スピード成年男子15歳(キタ)は、タヨウ(東京・武蔵小山)が予選を突破できなかった。

図6



らえない。やはり、北海道や長野の選手は別格だ。喜多選手は以前に準決勝へ進出したが、今回は同走に速い選手も多く、予選突破はならなかつた(図6)。

筆者は選手として42歳から5年間、その後は世話を担当している。よく恵那を訪れており、とても愛着を感じる。小さな町ながら、国体や国際大会を引き受け下さり、地元の婦人会やボランティアの方々のおもてなしに、心から御礼を申し上げたい。

マスターズ大会

アンエイジングの実践者の代表は、各種スポーツのマスター大会への出場者といえるだろう。35歳頃

から出場が可能で、私も常連の一人である。

2月中旬、マスターズ・アイススケート大会が盛岡で開催(図7)。従来、全国の実業団大会と一緒に行われていたが、諸事情で今回からマスターズ単独に。実業団の選手は、年齢枠がないAクラスで参加した。ここで驚くことが。私が尊敬し憧れる冬期五輪メダリスト・岡崎朋美選手も参加され、リンク上でツーショットの写真撮影も快諾して頂いた(図1)。

綺麗なフォームで疾風の如く滑る姿を拝見し、私もさらに頑張らねばと決意を新たにした次第である。宝物の写真から、スピリットを鼓舞する勇気を常にもらつていて(図8)。

図8

目標は国際大会

2010年3月、我らマスターズの日本選手6名は国際競技会(オランダのHeerenveen)に参加した。その際、当地の宿泊についてインターネットで数時間にわたって検索し、リンク隣接のホテルを探し当たたのが懐かしい。

日本体育協会に報告し(図9)、翌年は17名がソルト湖(スピードの成年女子)00m選では、昨年12月の全日本スプリント選手権総合2位の辻麻希(愛知・中京高)が65・67点でトップ。

ピアニスト)

(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト)

第3回Heerenveen sprint競技会 第7回Heerenveen long distance競技会

オランダ・ヘーレンヴィーン・ティアルフ(Thialf)
2010年3月22-23日および24日

報告者 板東 浩

(徳島県SCスピード部長 日本体育協会スポーツドクター)

【参加選手】

板東 浩、坂本浩一、河田 泰
近藤正司、相沢英一、高橋千昭

はじめに

從来、国際マスターズスピードスケート委員会(International Masters' Speed Skating Committee, IMSSC)は、各地で国際競技会を開催している。2010年3月22,23日にスプリント競技が、



図2 ISUと世界オールラウンド選手権2010

2.世界初の室内リンク・Thialf

今回、国際マスターズ競技会が開催されたのは、オランダの北東部Heerenveenにあるティアルフ(Thialf)である(図1)。本アイスアリーナは1986年に設立された世界初の室内400mリンクで、関係者に広く知られる。毎年2つのSpeed Skating World Cupを開催してきている。



図10